

4月4日(土曜日)

【新改訳 2017】

ルカ:22章4～47節

22:15 イエスは彼らに言われた。「わたしは、苦しみを受ける前に、あなたがたと一緒にこの過越の食事をするのを、切に願っていました。

22:16 あなたがたに言います。過越が神の国において成就するまで、わたしが過越の食事をするのは、決してありません。」

22:17 そしてイエスは杯を取り、感謝の祈りをささげてから言われた。「これを取り、互いの間で分けて飲みなさい。

22:18 あなたがたに言います。今から神の国が来る時まで、わたしがぶどうの実からできた物を飲むことは、決してありません。」

22:19 それからパンを取り、感謝の祈りをささげた後これを裂き、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられる、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。」

22:20 食事の後、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あ

なたがたのために流される、わたしの血による、新しい契約です。

受難週第五日目のことです。この日は、エジプト脱出を記念する過越しの祭りの第一日でした。この意味深い日に、特に夕方からは、表現できないほどの厳粛かつ重大な時が過ぎていきました。この箇所を全体をぜひ読んでください。

弟子ユダの裏切りの思いが始まっていた時、イエスは弟子たちの足を洗い、最後の晩餐を共にし、ゲッセネマで血のにじみ出るような祈りをされました。この一つ一つに危機的な意味と教訓があったのに、弟子たちは、自分たちの内で誰が一番偉いかを議論したり、居眠りをしているありさまでした。

しかし主は、ご自分の「からだ」と「血」による(=十字架刑)新しい契約のわざを進めておられたのです。

～祈り～

主よ。最後の晩餐により、聖餐式を制定してくださったことを感謝します。これを通して、あなたの十字架の痛みと恵みをおぼえることができますように。